

## インプラント治療はチームアプローチ

検査・診断・手術・コンサルテーション

ゲン歯科クリニック (福岡市) / 元 永三



A4 判変形 / 176 頁  
 定価 12,600 円  
 (本体 12,000 円 + 税 5%)  
 医歯薬出版刊  
 (2009 年 7 月発行)

『インプラント治療はチームアプローチ』という、もっとも基本的で当たり前のタイトルがついた書籍が発刊されました。かねてより、「すべての歯科治療はチームアプローチが大切である」と力説し、かつ実践している水上哲也先生とその医院スタッフによって書かれた書籍であることを知り、感動を覚えました。日ごろから、水上歯科クリニックのスタッフ教育や診療システム、そしてチームアプローチに対するノウハウについて知りたかった私やスタッフ達が、この書籍を通じて多くのことを学ばせていただいたことはいうまでもありません。

インプラントに関する書籍が数多く出版される昨今、歯科衛生士をも対象とする書籍はそれほど多くはないでしょう。特に、日常臨床に役立つ書籍を見出すことはなおさら容易なことではありません。

これまでの出版の傾向としては、その分野の教科書あるいは参考書として、または実習書としての趣を呈しながらも、歯科医師用、歯科衛生士用、歯科技工士用と職種別に特化した形で発行されているのではないのでしょうか？ そのようななか、これら全般をまんべんなく、ほどよく網羅しながら、わかりやすくまとめられた本書は絶賛に値する待望の書であるといえます。

本書を読んで最初に驚いたことは、やはり、チームワークのよさとスタッフの知識の高さです。通常、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士が三者三様の研鑽と努力をすることによってそれなりの向上がありますが、各自が全体の流れと知識を共有し、自分の分野のみならず、お互いの分野を学び、理解し、最善の結果を得るための協力体制がとれていることが十分伺える内容となっています。医科の世界では、医師、看護師、臨床検査技師のコラボレーションとバランスが上手にとれていないと良質な医療が行えないのと同じように、今後歯科医療においても、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士の、本当の意味での三位一体が必要不可欠となるでしょう。

また、本書ではインプラントに関する基本的な考え方や術式がよく整理されているだけでなく、日常何気なく行っている縫合や切開に関しても、その意味や意義が細部にわたってわかりやすく記載されています。これは初心者から上級者に至るまで、そして歯科医師のみならずスタッフにとってもわかりやすく、インプラントにとどまらず、外科処置全般の理解に役立つ内容です。

最後に、数多くの文献と論文に裏づけされた内容は、参考書としても十二分に評価されるものであると考えます。これは、日ごろから優れた技術のみならず、文献検索を絶えず行いエビデンスベースの医療を目指す水上哲也先生の指導が反映された結果であると思います。

いままで、自院におけるインプラント治療において、患者獲得からメンテナンスに至るまでで不具合や理解できない部分があったとしたら、本書を自院の教科書として全員で勉強されることで諸問題が改善・解決されることでしょう。今後も、このような書籍が数多く出版されることを願っています。